



第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・小学校1年生の部

審査員講評

みつはしな おこ

三橋菜穂子先生 (当番審査員)



本選会へご出場された小学1年生の皆さん、本当におめでとうございます。

楽しく弾くことは出来ましたか？

小学校へ入学され環境の変化が大きい中で、日々ピアノに向かわれた皆さんの努力に、大きな拍手を送りたい気持ちで聴かせて頂きました。

ご指導されている先生の指導力の高さにも感銘を受け、審査しながら沢山勉強させて頂いた幸せな時間でした。素晴らしい演奏を、ありがとうございました。

課題曲について

皆さん自然な音楽の流れを作るのが上手で、メロディをよく歌わせ、適切なテンポを選ばれて、余裕を持って弾かれている方が多かった印象です。

今後に向けては、バロックの様式を忘れないで頂きたいということです。身体を動かし過ぎず、歌い過ぎず、舞曲はどんな踊りなのかも理解した上で、作り過ぎない演奏を目指して下さい。

1年生で、ここまでレベルの高い演奏が出来ていて、余力がある故に気をつけて頂きたいと思います。

選択曲について

のびのびと、ご自身の音楽を伝えようという姿勢が感じられ、表現意欲に溢れ、個性が光る演奏をされた方が多くいらっしゃいました。

選曲は悩みますが、難易度に幅を持たせた曲が揃っていますので、決して無理をせずに、皆さんの表現力、技術力が、力量に合っている曲を選んで頂きたいと思います。

今回、コンクールという目標に向けて、日々努力を重ねられ、忍耐力や集中力、様々なことが身についたのではないのでしょうか。

結果に関わらず、貴重な経験になって頂けていたら嬉しいです。本番1回目で普段通りの演奏をするのは大変なことですが、経験を重ねると慣れていき、精神的にも強くなると思います。

是非また来年も受けて下さいね。大きな可能性を持つことが出来るご年齢の皆さんです、また更に成長された演奏を聴かせて頂けるのを楽しみにしております。